



西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校
令和 5 (2023) 年度 2 月号

<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachu/>

《教育目標》
◇心豊かな人
◇自ら学ぶ人
◇健康な人
『自主自律』の精神

令和 5 年度 教育調査の結果について

副校長 大金 泰光

令和 5 年度の教育調査にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果とその分析（概要）についてご報告いたします。生徒への教育調査を除き、今年度の教育調査は済美教育センターから直接ご質問をさせていただきます。保護者向けの質問内容につきましては、昨年度と大きく異なっているため前年度との比較ができません。したがって、保護者対象のみ単年度の調査結果をお示しいたします。

調査の結果は肯定率の数値を用いています。肯定率とは回答の「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合で、青字は前年度の肯定率を上回ったものを表しています。肯定率が低い原因の多くは否定的な回答が多いからではなく、「どちらともいえない」や「回答できない」と回答した割合が高いことにあります。

1 生徒対象の教育調査の結果

教育調査（生徒対象）の結果（肯定率）＊青字は前年度の肯定率を上回ったもの 回答率：91.3%(R3) 87.4%(R4) 90.0%(R5)

	質問内容	肯定率の推移		
		R3	R4	R5
1	先生は、クラスみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	80.5%	85.6%	86.2%
2	授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。	63.1%	55.7%	55.6%
3	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	43.9%	43.0%	41.2%
4	授業では、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学んでいる。	56.7%	49.8%	53.4%
5	授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	79.9%	78.4%	81.7%
6	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	82.3%	85.6%	80.7%
7	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	71.0%	73.1%	74.6%
8	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	92.4%	91.1%	93.6%
9	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	74.4%	80.3%	76.2%
10	道徳の時間では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	76.8%	78.0%	77.5%
11	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	74.4%	73.4%	74.9%
12	学校や家などで、1 か月に本、新聞、雑誌、調べ物をするための資料などを読んだ。	—	80.7%	84.9%
13	地域の行事に参加している。	29.9%	23.9%	24.4%
14	先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	42.1%	42.6%	46.9%
15	先生は、整理・整頓や清掃について、話をしたり考え（活動）させたりしています。	63.1%	58.4%	61.4%
16	先生は、体験的な活動や調べてみる学習に進んで取り組めるように指導をしてくれます。	68.6%	70.3%	67.2%
17	先生は、あいさつの励行やきまりを身に付け、学校生活が向上するよう指導をしてくれます。	77.7%	78.2%	83.0%
18	先生は、学級活動や生徒会活動・学校行事に進んで取り組めるように指導をしてくれます。	76.5%	80.2%	76.8%
19	先生は、将来の進路や生き方・働くことの意味について、先生や友達と相談したり、考えたりすることができるよう指導をしてくれます。	75.0%	73.3%	70.4%
20	先生は、いじめや仲間はすれなどがなく、相手の立場を考え、互いに協力し合える関係がつかれるように指導している。	73.2%	79.2%	76.5%
21	先生は、相談にのってくれたり、意見を尊重したり、励ましたりしてくれます。	65.5%	68.3%	75.6%
22	先生は、学校生活が充実し、楽しめるように指導してくれます。	72.3%	78.2%	78.5%
23	友達や先生に対して、気持ちの良いあいさつができています。	77.4%	80.2%	78.8%
24	学級・学年活動や生徒会活動・部活動を通して、自分の役割を果たし、自己の有用感や成就感を味わっている。	68.9%	73.3%	71.1%
25	I C T を活用した授業では、発言・発表の機会を増やし、生徒が互いに学び合う活動を多く取り入れている。	76.8%	84.2%	71.7%
26	小中連携における小学生と中学生の交流や、上級学校訪問などを通しての進路学習を進めることは、とても意義のあることである。	58.8%	69.3%	57.6%
27	中学生レスキュー隊や地域の祭礼・行事等でのボランティア活動へ積極的に参加している。	23.2%	37.6%	28.9%
28	先生方は、生徒の呼び方や生徒への声掛けの際の言葉遣いに、十分気を配っている。	71.3%	79.2%	73.3%

2 保護者対象の教育調査の結果

教育調査（保護者対象）の結果（肯定率） 本校の回答率：49.0%

	質問内容	R 5 肯定率	
		本校	区全体
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている。	60.9%	54.7%
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている。	70.4%	65.5%
3	子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる。	53.8%	49.7%
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。	46.7%	46.3%
5	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	45.0%	40.6%
6	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している。	66.3%	64.7%
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	30.2%	34.0%
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある。	53.3%	43.2%
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している。	75.1%	62.8%
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている。	89.3%	79.0%
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている。	53.8%	43.9%
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	36.1%	35.0%
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている。	17.8%	27.8%
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる。	75.1%	68.4%

3 学校運営協議会委員対象の教育調査の結果

教育調査（学校運営協議会委員対象）の結果（肯定率） *青字は前年度の肯定率を上回ったもの 回答率：90.0%(R4) 100%(R5)

	質問内容	肯定率の推移	
		R4	R5
1	子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問いや課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探究したりする力が育っている。	100.0%	90.0%
2	子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている。	88.9%	80.0%
3	教員は、全ての子どもが共に学ぶ中で自分らしく成長できるよう、それぞれの経験や専門性を生かし合っている。	88.9%	90.0%
4	学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭や地域、民間の団体や企業等と連携している。	100.0%	80.0%
5	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちによって、その時々の学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている。	88.9%	90.0%
6	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	77.8%	50.0%
7	学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している。	100.0%	100.0%
8	学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員（学校関係者を含む）と話し合ったりしている。	100.0%	90.0%

4 結果の分析（概要）

（1）生徒対象

- 肯定率が 50%未満の項目は、「【質問 3】の個別指導、【質問 1 3】の地域行事、【質問 1 4】の地域との協働、【質問 2 7】のボランティア活動」でした。
- 「【質問 3】個別指導」については、1人1台専用タブレット端末と電子黒板システムやデジタル教材等を活用することで、学びの広がりや個に応じた学習環境が整いつつあります。これらの機器を活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を図り、個に応じた学びを充実させてまいります。
- 「【質問 1 3】地域行事」及び「【質問 2 7】ボランティア活動」については、有志生徒による「ホテル祭りクリーンボランティア」への参加や高井戸第二小の運動会支援、ボランティア部による活動などが実施できました。また、杉並区中学生レスキュー隊の活動では、合同訓練や防災施設見学、西宮中学校震災救援所の役員の皆様の指導を受けての訓練等を行っています。今後はより多くの生徒が参加できる活動を工夫してまいります。
- 「【質問 1 4】地域との協働」については、本校の共育支援本部の尽力により、「いのちの学習」や「能楽ワークショップ」等において外部講師を招いた授業が実施できています。今後も共育支援本部との協働により、授業や学校行事の充実を図ってまいります。

(2) 保護者対象

- 本校の肯定率は、ほとんどの質問項目で区全体の平均を上回っています。区の平均を下回った項目は「【質問 7】多様な場や道具の選択」と「【質問 1 3】特別支援学校・学級との交流」だけでした。また、本校の肯定率が 50% 未満の項目は、「【質問 4】企業等と連携した学び、【質問 5】小中一貫教育、【質問 7】多様な場や道具の選択、【質問 1 2】きめ細やかな支援、【質問 1 3】特別支援学校・学級との交流」でした。
- 「【質問 4】企業等と連携した学び」については、第 2 学年で 7 月に職場体験学習を 3 日間実施しました。また、その事前学習として企業で働いている方 2 名を講師に迎え、働くことの意義や社会ではどのような人が必要とされているのかについて学ぶ機会をもっています。
- 「【質問 5】小中一貫教育」については、連携する小学校との合同研修会を 2 回実施し、2 月中旬に 3 回目を予定しています。この研修会は小学校との接続を重視した教育活動を推進する上で貴重な機会となっています。小学生の中学校体験については、9 月に高二小と松庵小の 6 年生による西宮中学校授業体験と部活動体験を実施しました。また、11 月に実施した西宮冒険記では高井戸第二小・松庵小に高井戸第四小と久我山小も加えて、小学 5・6 年生による部活動体験を実施しました。授業体験では小学生が熱心に中学校の授業に取り組んでいました。また、部活動体験では中学生が小学生をリードしながら共に楽しい時間を過ごすことができました。
- 「【質問 7】多様な場や道具の選択」については、生徒が学習する上でその環境を整えることは重要であり、学習にふさわしい場を設定したりそのような雰囲気を作ることはとても意味があることだと考えています。小学校とは異なり、中学校という資源が限られた状況の中で、最大限の工夫と努力を重ねてまいります。
- 「【質問 1 2】きめ細やかな支援」については、普段の学校生活における教員による見守りに加え、ふれあい月間アンケートや教員とのおしゃべりウィーク、QU テストなどを実施して生徒の理解に努め、様々な問題の未然防止・早期発見に努めています。また、校内で情報を共有し、スクールカウンセラーや関係機関とも連携を図りながら組織的に対応しています。
- 「【質問 1 3】特別支援教育」については、巡回の特別支援教室教員や関係機関と連携し、会議や校内研修会等において理解を深めるよう努めております。また、特別支援学校との交流は、部活動で実施することができました。保護者の皆様にも、こうしたことやその成果が感じられるよう工夫してまいります。

(3) 学校運営協議会委員対象

- ほとんどの共通質問で肯定率が 80% を大きく上回り、高い評価をいただきました。この評価を維持し、さらに向上できるよう、今後も教職員一丸となって子どもたちのために教育活動を展開してまいります。
- 「【質問 6】多様な場や道具の選択」につきましては肯定率が 50% でした。保護者の欄（【質問 7】に対する分析）で述べた通り、これからも最大限の工夫と努力を重ねてまいります。

東京都教育委員会による表彰

この度、令和 5 年度東京都教育委員会児童・生徒等表彰被表彰者が決定されました。本校からは 3 年生の 3 名が表彰されることになりました。この経験を次のステップでも生かしてほしいと思います。

3 年生への受験応援メッセージ

生徒会役員の企画で、1、2 年生と教員が 3 年生に向けて、受験応援メッセージを書きました。各クラスの学級委員に協力してもらい、メッセージを絵馬に貼り、3 階の廊下に掲示しています。今年は下地も木目調に変更し、より絵馬に近づけました。この応援メッセージを見て頑張してほしいと思っています。西宮中学校から 3 年生の頑張りを応援しています。

(生徒会担当)



書初めの結果

冬休みの宿題で書き初めをしました。ICTが発達した今、字を書くことだけに集中する時間は貴重です。字を書くことで自分を見つめ直すこともできます。15日から19日には6名の生徒が区の書き初め展に出展しました。また2月には東京都公立学校美術展覧会に1名出展しています。(国語科)

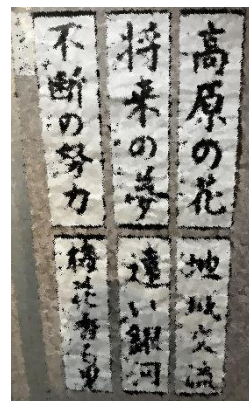
《 杉並区書き初め展出展者 》

3B 「不断の努力」 3B 「梅花香る里」
2B 「将来の夢」 2B 「遠い銀河」
1B 「地域交流」 1B 「高原の花」

《 東京都公立学校美術展覧会 》

3B 「梅花香る里」

区の書き初め展の様子



特別支援教育

【学びの教室】令和6年度9月入室募集

特別支援教育は、一人ひとりの教育的ニーズを把握し自分のもっている力を十分に発揮できるよう支援や指導を行うものです。

この教室では、困り感をもつ生徒の立場に立って、個々の成長や発達を丁寧に見取りながら学習を積み重ねます。

特別支援教室「学びの教室」の募集は年2回(4, 9月入室)です。来年度の9月入室の募集が始まっています。詳細をお知りになりたいご家庭は担任までご相談ください。

「学びの教室」入室を希望する場合は、心理検査を受ける必要があります。心理検査は、かかりつけ医療機関(有料)または済美教育センター(無料)で受けることができます。済美教育センターでの検査申し込みは、混み合いますので早めにお申し込みください。

まずは、学級担任、特別支援教育コーディネーターなどにご相談ください。申請に必要な用紙は担任経由でお渡しします。

(特別支援教育コーディネーター担当)

このようなことに困っている生徒のための教室です

気持ちの切り替えが難しい

- 場の空気を読み、状況判断をして行動することが苦手。
- 好きなことには集中しすぎて、それ以外のことがなおざりになる。
- 急な予定の変更が苦手で、パニックを起こすことがある。



コミュニケーションがうまくとれない

- 思ったことをそのまま口にしてしまったり、自分のことをうまく表現できなかったりして、友だちとの関係がぎくしゃくする。
- 興味や関心のあることを一方的に話すことがある。
- 人の気持ちを读むのが苦手で、周囲の反応を気にしない。
- 学校では友だちとの交流を求めず、孤立しているように見える。

運動や体の動きが器用にできない

- 水泳や器械体操等が苦手、球技でフォーメーションが理解できないなどから、取り組みを嫌がる。
- 楽器や実技教科の道具の取り扱いが苦手であまりうまくできない。
- 手先を使う細かい作業を不得意とする。



不注意、衝動性が目立つ

- 整理整頓が苦手であつて物をよくなくす。忘れ物が多い。
- 授業やテストで集中できない。うっかりミスが多い。
- 思いつきで発言したり行動したとして、失敗体験が多い。
- やりたいことが他にあると注意が逃れ、課題を最後までやり遂げられない。
- 音や光や皮膚感覚に過敏に反応して、集中できない。

学習に得意不得意があり、力を発揮しにくい

- 授業には参加できても、音読、読解、聞き取り、作文、書字、計算、推論するなど特定の分野が極端に苦手である。
- ノートをとることが難しく、授業に集中できない、課題を提出できないことがある。



《2月の主な行事予定》

- 2日(金) 朝学習(1年)国(2年)英(3年)数 始
避難訓練
- 5日(月) 全校朝礼 安全指導
職員連絡会
- 7日(水) 移動教室(2年) 始
杉教研一斉研究会
- 9日(金) 移動教室(2年) 終
校外学習(1年)
- 12日(月) 建国記念の日
- 14日(水) 小中一貫教育研修会(発表会)
- 15日(木) 朝学習(1年)国(2年)英(3年)数 終
- 16日(金) 理科出前授業(1年)
アフタースクールスタディ 始
朝学習(1年)数(2年)国(3年)英 始

- 17日(土) 新入生保護者説明会
- 19日(月) 区生徒意識実態調査
- 21日(水) 都立一次前期検査
- 22日(木) 朝学習(1年)数(2年)国(3年)英 終
- 23日(金) アフタースクールスタディ 終
天皇誕生日
- 26日(月) 第4回定期考査 始
- 28日(水) 第4回定期考査 終
専門委員会
- 29日(木) 展示会準備

行事予定に変更がある場合は、まなびポケットや一斉メール、または書面等で、速やかにご連絡いたします。